

さかど

ロイヤルの園だより

発行
(福)栄光会
さかどロイヤルの園
坂戸市大字森戸739-1

「私のふる里」

三層亜麻のくだり
介護職員

私は上越市(旧中領城郡三和村)出身です。上越市には春日山に上杉謙信の墓があり、金谷山スキー場(旧高田市)は、日本初のスキー発祥の地です。

また、前島密は「日本近代郵便の父」として知られ、近代郵便制度の創設に尽力した方です。市の中心部には高田城があり、この城は徳川家康の六男、松平忠輝が築城しました。現在は高田城址公園となり、春には約四〇〇〇本の桜が咲き誇る日本三大夜桜にも数えられる名所です。夏には広大な外堀に「東洋一」と称される蓮が咲きます。

秋にはたくさんのお米「コシヒカリ」が収穫されます。冬は豪雪で3m以上の雪が積もることもあり、除雪は大変ですが天気の良い日には、雪が積もる山や木々は宝石のように輝き綺麗です。春の新緑はとても感動的です。ぜひ、上越市のふる里に遊びに来ないやー。(「来てください。」)

「日常」

二層亜麻のくだり
介護職員

十二月の下旬にしばらくお休みをいただきました。お休みを明けて出勤しご入居者の方々へ挨拶すると「お久しぶりね。しばらく見なかったからどうしたのかと思っただ」と仰ってくださいる方や「やっと元気になったのね。よかったわ」と仰ってくださいる方がいらっしやいました。お休みをいただく前はご入居者の方々と話すことも「仕事」と割り切りコミュニケーションをとることが多くありました。今回お休みをいただき、仕事との向き合い方を考える時間や自分の身体を休める時間を作れたことでご入居者の方々や職員の方々と関わる上でどうしていくのかを改めて考えることができました。「元気になって良かった」と仰っていただいた言葉を無駄にせず、笑顔でご入居者の方々と向き合えるように引き続き働いていきたいと思えます。日常の会話を大切にできるような心掛けていきます。

「二〇二六年ミラノ・コルティナ冬季五輪」

医務室
看護師

今回はもうすぐ開催される五輪について紹介させていただきます。二〇二六年二月六日から二二日まで開催される第二五回冬季五輪は、イタリア北部のミラノと、ドロマテ山塊に位置するコルティナ・ダンペッツォを中心に開催されます。両都市は約二五〇キロ離れており、氷上競技はミラノ、雪上競技やソリ競技はコルティナなど山岳エリアで実施される「分散開催」が特徴です。これは五輪憲章改定により可能となった新しいスタイルで、都市型と自然型の舞台を同時に楽しめる史上初の「複数都市共催」の大会となります。競技は八競技一六種目が予定され、スキー、スケート、ボブスレー、カーリング、アイスホッケーなど冬季スポーツの定番が勢ぞろいします。開会式はミラノのサンシーロ競技場(イタリア最大のスタジアム)、閉会式は古代ローマ時代の円形劇場アリーナディヴエローナで行われることで、歴史と現代が交差する演出

も見どころです。また、コルティナは一九五六年以来七〇年ぶりの開催地となり、イタリア全体では二〇〇六年トリノ以来二〇年ぶり三度目の冬季五輪です。伝統と革新が交錯するこの大会は、持続可能性やジェンダー平等の拡大もテーマに掲げ、未来志向の五輪として注目されています。日本とイタリアの時差は八時間あり、生放送で見ようとすれば深夜帯になることが多いかもしれませんが、馴染みのある競技や日本選手の活躍に期待のかかる種目など見てみてはいかがでしょうか。

「四層 十二月の様子」



「Suicaのペンギンの引退」

四層亜麻のくだり
介護職員

駅や電車でおなじみの「Suicaのペンギン」が、役目を終えることになったそうです。改札や案内表示などで見かけたことのある方も多いのではないのでしょうか。

私は電車通勤しているのですが、毎日駅を利用する中でSuicaのペンギンはとても身近な存在でした。特別に意識することはなくても、「いつもの風景」の一部として自然に目に入ってくるキャラクターだったように思います。これからは少しずつ見かける機会が減っていくようですが、Suicaや電車そのものがなくなるわけではありません。時代に合わせて形が変わっていく、そんな節目のひとつなのかもしれないですね。

長い間、駅や電車まわりを親しみやすくしてくれていたSuicaのペンギン。これまでの活躍に「おつかれさま」と声をかけつつ、これからの駅の風景も楽しんでいきたいと思えます。

「戻りつつある活気」

二層瑠璃のくだり
介護職員

面会の制限が緩和され出入りが自由となったことで、ご入居者やご家族の笑顔を多く見る機会が増えたなと感じました。今まではこれが当たり前だったのが、「コロナにより日常が変わり、予約制でのパーティーション越しや窓越しでの面会となり、いつしかその風景が日常となっていました」。

全国的にインフルエンザが早い段階で流行し埼玉県も警戒レベルでの警戒が続く中で、面会に不安も感じましたが、幸い

なことに感染者も出ることなく無事に過ごさせていることがなによりです。十二月から再び面会制となってしまいましたが、一年を通して自由に面会ができるようになる日が来ることを待つばかりです。

「免許取得」

一層瑠璃のくだり
介護職員

私は去年の七月から教習所へ通っています。周りの友人が免許を持っているのと、自身が免許を持っていたら行動範囲が広がる楽しさを味わいたいと思ったのがきっかけです。昔から新しいことへ挑戦するのが得意ではなかったのですが、正直取得できるのだろうかと不安のほうが大きかったです。また、仕事をしながら教習所へ通い、試験のために勉強をしなければならぬという大変さを改めて実感しています。最近ニュースにも多くあるように車の事故が増えてきています。今年は卒業試験を受け、合格したら免許取得ですが嬉しい気持ちの反面、緊張感を持たなければなりません。これから覚えることがたくさんありますが、両立をし、これからもより一層努力していきます。

「季節の流れ」

三層瑠璃のくだり
介護職員

年末は大掃除をしたり、お正月の準備をしたりと言いたいところですが、気持ちだけがあせる毎日でした。寒い

のが苦手な私はなかなか一歩が踏み出せません。日本には四季というすばらしい季節があります。しかし、ここ数年は夏から秋を通り過ぎ冬の気温になったりと変わってきています。先日、日光へ車で紅葉狩りに行ったつもりでしたが途中から雪が降ってきて前方で走っていたツーリングのバイクもトトロ、自分の乗っている車も安全運転のためトトロと何とも複雑な思いをしました。複雑なことは体調もそうでした。少しずつ少しずつ涼しくなり、寒くなることは対応できるのですが、一気に10度以上気温が変わると体が追いついていきません。せつかくの四季ですから心も体も準備し季節の流れを楽しみたいものです。

「二層浅緑・瑠璃 十二月の様子」

